

部 長 梶田 誠二  
植松 浩二郎  
研究主任 塚田 有貴  
部 員 数 43 名

## 1 研究主題

### 「主体的・対話的で深い学びを実現する理科授業の創造 ～ICT 機器の活用を通して～」

## 2 はじめに

2019 年に文部科学省が打ち出した「(リーフレット) GIGA スクール構想の実現へ」では、「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人ひとりに公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境の実現」と表記されている。1 人 1 台端末を使える環境が広がることで、一人ひとりの学びの質が向上することが期待されている。

理科の授業においては、観察・実験や考察などの場面で ICT 機器を活用することで、より主体的・対話的で深い学びを作りだすことができるのではないかと考えている。さまざまな実践を通して、ICT 機器の効果的な活用方法を研究することとした。

## 3 研究経過

小委員会を開催し、I C T機器の効果的な使い方について情報交換を行った。

## 4 研究の概要

ICT機器の中でも特にタブレット端末の利用方法に重点を置いて研究を進めている。記録した実験の様子を反復して見たり、共有ソフトで生徒の意見を集約したりするなど生徒の学びに即した使い方ができることが分かった。しかし、機器の操作を習得させることがメインになってしまい、学びの質が向上したかを検証するまでには至っていない。

## 5 実践を振り返って

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、教育研究会を十分に開催することができず、ICT 機器の活用が主体的・対話的で深い学びの実現に有効かどうか検証することができなかった。来年度は、観察・実験の場面や考察する場面で積極的に活用し、理科授業の質が向上するような実践を多く行いたい。そして、感染症対策を行った上で、教育研究会を開催し、各校の事例等の情報交換を行っていききたい。